

令和2年第5回定例会一般質問通告事項

	<p>三浦 徹 議員（日本共産党）</p>	<p>質問方式：一問一答方式</p>
<p>9 月 11 日</p>	<p>1 尾道市におけるPCR検査体制の現状について</p> <p>(1) 現在、尾道市民がコロナウイルスに感染したのではないかと感じられた場合、どのような手順でPCR検査を受けることができるのかお聞きします</p> <p>(2) 現在（8月26日時点）広島県は唾液検査を行う医院を募集しています。9月半ばから検査を実施する予定のようですが、この検査方法が始まった場合どのような制度になるのか具体的に教えてください。また、尾道市では現在、この制度に申し込みをしている病院はどのくらいありますか</p> <p>2 尾道市独自のPCR検査の実施について</p> <p>(1) 現在、尾道市では「市独自のPCR検査実施」は行われていません。一方で東京都の世田谷区ではPCR検査について「いつでも誰でも何度でも」をスローガンに区民に安心をもたらしています。尾道市では市独自のPCR検査を行っていく予定があるのでしょうか。お聞かせください</p> <p>(2) 世田谷区のように「いつでも誰でも何度でも」とまではいなくても、コロナウイルス感染拡大防止のために最前線で働いている医療関係者の方々、クラスター発生の危険性のある介護関係職員、認定こども園・幼稚園・保育園、学校関係の職員の方々には、感染症拡大防止の観点から市独自で早急にPCR検査を行えるようにしていくべきであると考えますが、尾道市ではどのように考えておられますかお聞かせください</p> <p>3 無症状、軽症のコロナウイルス感染者に対しての対策と在宅介護を行なっている家庭に対しての今後の対策についてお聞きします</p>	

